

内科 小児科 漢方  
産科 婦人科  
浮田医院  
だより



第 74 号  
医療法人 せゝらぎ会  
発行所：浮田医院  
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28  
TEL 0740-32-3751  
FAX 0740-32-3795  
ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>  
e-mail: [kanpou@ukita.gr.jp](mailto:kanpou@ukita.gr.jp)  
発行日：2008年1月5日(土)  
発行者：浮田 徹也



# 漢方薬のよさ(74) 神経痛！

明けましておめでとうござい  
ます。今年もよろしく願いま  
す。

昨年を表す漢字は「偽」でした。  
国民は本物を求めているのでし  
よう。ありのまま、本音で語り  
生きていきたいものです。

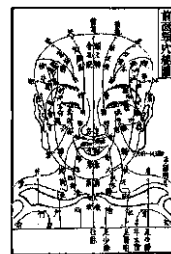
今月は大阪で日本東洋医学会  
関西支部役員会、来月は京都(京  
都大学芝蘭会館)で漢方研究会  
があります。いずれの会も漢方  
を志す方が参加され、過熱気味  
の討論が繰り広げられます。私  
も講演する予定ですが、きつと  
多くの方から多くの質問が飛ん  
でくるでしょう。どんな質問が  
来るか楽しみです。

先月中頃より漢方のお茶(清  
暑益気湯加減)を待合に置いて  
います。疲労回復にもってこい  
のお茶です。ちよつと疲れ気味  
の方はお試しください。妊娠中

の方も飲みください。

神経痛！のお話です。

顔面神経痛(三叉神経痛)、上  
腕神経痛、肋間神経痛、坐骨神  
経痛、帯状疱疹後神経痛、糖尿  
病性神経痛などがあります。機  
械的圧迫(血管やヘルニア腫瘍  
による圧迫)、や腫瘍では西洋  
医学的治療(手術)が優先しま  
すが、原因が特定しない場合、  
心因的要因と思われる場合、西  
洋薬での副作用がある場合、西



雲龍の図(狩野探幽、妙心寺)

洋医学が有効でない場合は東洋  
医学的治療(漢方薬、鍼、灸など)  
を試みる価値があります。東洋  
医学的に大切なことは、全身や  
局所の冷えや熱症状(寒熱)、  
胃腸症状、血流(瘀血)、むく  
み(水毒)、痛みの移動、体力(疲  
れ)、ストレスの有無などです。  
では実例に移ります。

三十五歳女性、顔面神経痛(麻  
痺、疲れ、食欲低下、むくみ(顔  
足)、頭痛。顔は淡紅色で軽度  
のむくみ、腹部は筋力中程度、  
胃内停水、臍上悸、臍下悸。脈  
は浮、滑。舌は、淡紅色、乾白苔、  
舌下静脈怒張。そこで、五苓散  
を処方。二週間後、顔の痛みや  
麻痺が軽減。一ヶ月後、眼痛、  
痺れ感、頭痛が続くと言われた  
ので、五苓散+修治  
附子末を処方。二ヶ  
月後、症状はほぼ改善。  
疲労感、軽度の痺れ  
感が残っていたので、  
五苓散、補中益気湯、  
修治附子末を処方。  
三ヶ月後、体調良好。  
更に、二ヶ月服薬し  
廃業。





四七歳女性、**肌あれ**、一五五cm、六三kg、褐色調皮膚、手、下肢足の皮膚は荒れ、便秘（五日に一回）、食欲良好、一四〇―一九〇、赤黒い顔、お腹は膨満、硬く、両側臍傍に抵抗と圧痛、脈は沈、弦、実。そこで、通導散、桂枝茯苓丸、四物湯、サフランを、外用薬として紫雲膏を処方。二週間後、便通はかなり改善。四ヶ月後、なんとなく皮膚に潤いがでて来る。一年後、カサカサした部分がずいぶん減少。二年後、時々カサカサが気になり紫雲膏を併用。五年後現在も継続中。

五十八歳女性、**慢性C型肝炎**、全身倦怠感、食欲不振、抑鬱感、便秘（三〜四日に一回排便）。インターフェロンを受けたがウイルスは消失していない。顔は青黒く両頬やや赤い、腹は軟弱で黒褐色調、胸脇苦満、臍上悸、心下痞硬、臍下不仁（下腹部虚弱）、脈は沈細弱。舌は暗黒色、乾膩黄苔。肝機能はGOT一三〇、GPT二〇〇、そこで、加味逍遙散、四物湯、サフランを処方。三ヶ月後、体のだるさが減り、食欲が亢進してきた。一年後ウ



〔院長〕

イルス（十）、体調良好。三年後、ウイルス（十）、体調良好、現在継続中。

五十九歳女性、**めまい**、頭痛、肩こり、抑鬱気分、背中の悪寒。顔は青白く脹れている。腹部は軟弱、胃内停水、臍上悸、臍下不仁（下半身虚弱）。脈は沈、遅、弱。舌は、淡白色、乾白苔、舌下静脈怒張。そこで、真武湯＋桂枝人參湯を処方。毎日少しずつ快方に向かい、二週間で元通りになった。

次回は、**骨粗鬆症**！です。

今年のせせらぎは一月、三月、五月、七月、九月、十一月、二月の七回発行する予定です。今年も職員一同皆様方のために診療したいと思えます。どうぞよろしく願います。



## 肌 あ れ

皮膚のカサカサ、かゆみ、色素沈着などは、年齢、季節、地域性などが関係しますが、生命の源「腎」の衰え（腎虚）、元氣「気」の低下（気虚）、微小血管「血」の循環不全（血虚）も大きく影響します。また、精神的ストレス（肝気鬱結）や静脈鬱滞（瘀血）のことも考える必要があります。保湿の工夫もして下さい。



## 慢 性 肝 炎

慢性肝炎には慢性B型肝炎と慢性C型肝炎があります。いずれの肝炎もウイルス量が少なければ、インターフェロン治療がよいようです。しかし、ウイルス量が多い場合やインターフェロン治療が無効の場合、漢方薬治療で体調（全身倦怠感、食欲不振、肌荒れ）を調える治療も有効な場合があります。



## め ま い

生命にかかわるめまい（脳梗塞、出血、腫瘍、外傷など）でなければ、漢方薬中心の治療がよいでしょう。発作の時は、注射や点滴でめまいを早く治療しましょう。しかし、なによりもめまいを起こしやすい体質を漢方薬で改善し、生活、環境、食事、心の調和をとり、無理のない生活を送ることが必要です。



## 当院の漢方治療



### 剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。  
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、**しっかり蓋**をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。  
漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

### 適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、**痺れ**、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患  
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患  
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

### エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

### 女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、腔分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

### 予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります。予約制、2回/月。  
午後2時～2時20分、2時20分～40分、2時40分～3時、  
3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時。  
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

### 骨量測定(4～6ヶ月ごと)

**1分で測定**(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

### アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。  
・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス ・メシマコブ  
・靈芝 ・AHCC ・サメ軟骨

### 漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

### 健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が  
使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、  
早急に受付に連絡して下さい。

### 在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、  
その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。  
往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問  
診療**を行い、患者さんの健康を管理します。  
**在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。**

### スーパーライザー(神経照射)

**赤い温かい光(近赤外線)**で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、  
膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、アトピー性皮膚炎、  
ストレス・・・などの治療に利用しています。

### 皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは3.0mm、  
いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、  
足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

### 処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き、**処置の  
欄**にチェックして下さい。

## 外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約～漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約可)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約～漢方外来(2回/月 土曜日)：午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分

3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)

◇更年期外来(月～土曜日)(予約可)：更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日)(予約可)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日)(予約可)：妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料)：正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料)：午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

## 前期と中期-母親教室

日時：平成20年2月2日、3月1日の各土曜日

対象：妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所：当院別棟 多目的ルーム 申込方法：申込ノートでご予約をお願いします。\*ご主人様もお気軽にご参加下さい。

立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

## 後 期 - 母 親 教 室

日時：平成20年1月16日(水)、26日(土)、30日(水)、2月9日(土)

20日(水) 対象：妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

## 母親教室のお知らせ

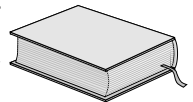
母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。

ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



## 和 剤 局 方

北宋で大観中(1107～1110年)に出版された書物です。正式には「太平惠民和剂局方」と言います。国立薬局である和剂局の処方解説書で中世の日本にも大きな影響を及ぼしました。品質の保証された生薬を用い、臨床的にすぐれた処方を全国から集め、陳師文、裴宗元、陳承らによって作られ、広く普及しましたが、病因を考えずに、症候から処方を選定されていました。収載された処方には、四君子湯、六君子湯、四物湯、安中散、十全大補湯、参蘇飲等の日本でもよく知られているものが沢山あります。



## 分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。

ご予約には、分娩予約カードと予約金10万円が必要です。

予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。

## 外来の予約方法

患者様の診察の待ち時間が短くなるように、診察の時間予約をしています(再診の方のみ)。そのため、予約頂いている患者様を優先させて頂きます。また、通院中の患者様の中でお薬だけ・注射だけ・検査だけの場合は時間予約の必要はありませんので診察時間中にお越し下さい。

◆ご予約頂いておいても、分娩などで診察を中断する事もございますのでどうかご理解頂きます様にお願い致します。

◆初診の方は予約できません。ご了承ください。

## パソコンホームページ(hhttp://www.ukita.gr.jp)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)  
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)  
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)  
老人医療のページ(在宅療養の支援)  
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)  
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

## 正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。

初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。

分娩希望の方はすべて受け付けています。

## 母乳相談(助産師)

母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。(電話予約可)午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。日程は掲示板やホームページでお確かめください。

## 赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。

日時：毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

## 入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

## 従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。